



「ひろば第11号」の内容です。

講座等募集：「川西親子ふれあい広場」

お知らせ：「図書購入のお知らせ」「公民館に贈られた千羽鶴について」

川西親子ふれあい広場

☆3月の予定☆

未就園児の親子が、リトミックや工作などを通じて、ふれあい学び合う広場です。

◇ 3月13日（月）「大きくなったね & 身体測定～ふれあい遊びとお祝い～」
（今年度 川西親子ふれあい広場 最終回となります）

- ◇ 対象 未就園児の親子
- ◇ 時間 午前10時30分～11時15分
- ◇ 場所 川西公民館（大ホール）
- ◇ 参加費 各回100円
- ◇ 持ち物 出席カード、上はき、飲み物
マスクングテープ、黒サインペンをお持ちの方は御持参ください

☆☆お知らせとお願い☆☆

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を36人までとし完全予約制で行います。事前に電話でお申込みをお願いします。
申し込みは3月1日（水）の午前8時30分から電話で受付を行います。（川西 公民館 ☎ 22-5004）
- ② 当日の受付は、午前10時15分から行います。
- ③ 自宅で検温をし、体調を確認してからおこしく下さい。
- ④ 水分補給以外の飲食は禁止します。ランチ交流会は中止します。
- ⑤ 大人の方のマスク着用をお薦めします。



川西小学校小泉地区の児童の皆さんが、新型コロナウイルス感染症の終息を願って千羽鶴を折ってくださいました。

皆さんの家庭で折った千羽鶴には、コロナの終息への願いと地域の皆さんの「つながり」を大切にしたい気持ちが込められています。

代表して、小泉町地区児童会長の宮崎一輝さんと、小泉町支部長の安田絵理子さんが届けてくださいました。

千羽鶴は、公民館のエントランスホールに展示しておりますので、ぜひ御覧ください。



図書コーナーに新しく本が入りました！ (第1弾)

貸出期間は2週間です



一般書

番号	書名	著者	出版社
1	人新世の「資本論」	斎藤幸平	集英社
2	生物はなぜ死ぬのか	小林武彦	講談社
3	土と内臓	デイビッド・モンゴメリー アン・ビクルー	築地書館
4	庭仕事の真髓	スー・スチュアート・スミス	築地書館
5	認知症世界の歩き方	笈裕介	ライツ社
6	他者と生きる	磯野真穂	集英社
7	一汁一菜でよいという提案 (文庫)	土井善晴	新潮社
8	まるありがとう	養老孟司/ 平井玲子 写真	西日本出版社
9	52 ヘルツのクジラたち	町田そのこ	中央公論新社
10	レッドゾーン	夏川草介	小学館
11	臨床の砦 (文庫)	夏川草介	小学館
12	掃除婦のための手引き書 (文庫)	ルシア・ベルリン	講談社
13	白の間 (文庫)	ジョゼ・サラマーゴ	河出書房新社

一部の書籍の紹介です

- 庭仕事の真髓 (スー・スチュアート・スミス 著)
この本の原題は「庭のように手入れの行き届いた心」です。心が癒される様子が、庭仕事を通して描かれていきます。
- 一汁一菜でよいという提案 (土井善晴 著)
一汁一菜とは、ご飯 (雑穀)、みそ汁、漬物で、昔から、食べていた食事のスタイルです。食卓にたくさんおかずを並べなければと考えるかもしれませんが、この本を読むと、自然と、丁寧にご飯を炊いて、旬の野菜たっぷりのお味噌汁を作ってみたくになります。
- まるありがとう (養老孟司 著 平井玲子 写真)
解剖学者の養老孟司さんが、18年間一緒に暮らした愛猫「まる」が、令和2年12月に天国へ旅立ちました。この本を見ると、私たちも、小さな「まる」からいのちの大きさを感じることでしょう。
- 掃除婦のための手引き書 (ルシア・ベルリン 著)
アメリカの短編集ですが、幾多の困難の中にありながら、「書く」という行為が生きる手立てとなる一つの例示を表しているのかもしれない。